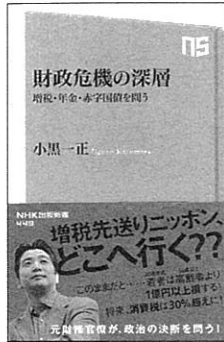


話題の本

財政危機の深層

小黒一正著

日本の政府債務は国と地方の累計で約1000兆円。対GDP比では敗戦直後の200%を超えたのに財政破綻どころか長期金利は最低を更新し、日本国債の信認は揺るがないかのように見える。著者は「財政赤字問題は世代間格差の問題」と喝破する。20歳未満と70歳以上では1億円以上の受益負担差が生まれる計算だ。子孫にツケを回して現役世代が楽をする赤字国債のひずみはいずれ露見する。財政という難問を理解するための良き入門書である。



NHK出版新書
842円

オートメーション・バカ

ニコラス・G・カー著

ピューリッツァー賞候補になった著者の『ネット・バカ——インターネットがわたしたちの脳にしていること』はネット登場後に人間の思考モード、情報処理モードの重大な転換が起きたという仮説に基づく著作だったが、この本はもっと根源的な機械と人間の関係を題材にしている。自動車の自動運転機能、精神医学におけるコンピューターの役割など、複雑なテクノロジー満載の生活空間に、機械の機能を知らずに生きる人間の危うさが浮き彫りになる。



青土社
2376円

丸善丸の内本店 週間ランキング (1月1~7日)

ビジネス

- ①ITロードマップ 2015年版
野村総合研究所著 東洋経済新報社 2376円
- ②21世紀の資本
トマ・ピケティ著 みすず書房 5940円
- ③日本人の「稼ぐ力」を最大化せよ
谷川史郎著 東洋経済新報社 1728円
- ④スチュワードシップ・コード時代の企業価値を高める経営戦略
藤井智朗、笹本和彦監修、ニッセイアセットマネジメント株式会社編 中央経済社 2592円
- ⑤いい仕事をしたいなら、家族を巻き込みなさい!
櫻田厚著 KADOKAWA 1512円
- ⑥ITナビゲーター 2015年版
野村総合研究所著 東洋経済新報社 2376円
- ⑦捨てる勇氣
大久保秀夫著、コンサルティングディビジョン編 リンケージ・パブリッシング 1620円
- ⑧NRI流 変革実現力
野村総合研究所編 中央経済社 2916円
- ⑨日本人のためのピケティ入門
池田信夫著 東洋経済新報社 864円
- ⑩人事・総務のためのマイナンバー制度
梅屋真一郎著 労務行政 2916円

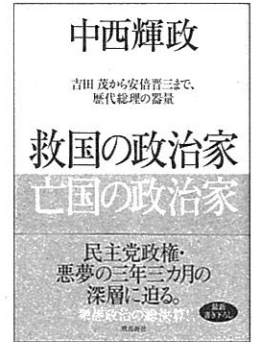
フィクション

- ①満願
米澤穂信著 新潮社 1728円
- ②夢をかなえるゾウ 3
水野敬也著 飛鳥新社 1620円
- ③神の門
山崎拓巳著 きずな出版 1728円
- ④土漠の花
月村了衛著 幻冬舎 1728円
- ⑤古事記
池澤夏樹訳 河出書房新社 2160円
- ⑥繊細な真実
ジョン・カレ著 早川書房 2376円
- ⑦鹿の王 上
上橋菜穂子著 KADOKAWA 1728円
- ⑧銀翼のイカロス
池井戸潤著 ダイヤモンド社 1620円
- ⑨それでも前へ進む
伊集院静著 講談社 1296円
- ⑩33年後のなんとなく、クリスタル
田中康夫著 河出書房新社 1728円

救国の政治家 亡国の政治家

中西輝政著

「吉田茂から安倍晋三まで、歴代総理の器量」の副題だが、民主党政権3年3カ月を「悪夢の衆愚政治の典型」として徹底して批判的に検証した部分が圧倒的に読みでがある。著者のナショナリズムを容認する歴史観に違和感を抱く方にとっても21世紀の米中2大巨頭時代に日本がそのはざままでどう生きるべきかという問題意識とその対処法には共感する部分も多いのではないだろうか。冷静に民主党政権を振り返った記録が案外少ない中で貴重な書物だ。



飛鳥新社
1620円

ぬえ 鶴の鳴く夜を正しく恐れるために

稲葉 剛著

生活困窮者らを支援するNPO自立生活サポートセンター「もやい」理事の稲葉氏が、これまで雑誌に掲載したエッセーなどをまとめた。路上生活者やネットカフェ難民の支援、「脱法ハウス」問題への取り組みなどを通じ、低所得者層への住宅政策の拡大を訴える著者の奮闘の日々が描かれる。タイトルの鶴は、サル顔やヘビの尾などを持つ伝説の怪物。闇に紛れる怪物(貧困)を恐れず、全体像を直視せよという思いが込められている。



エディマン
1836円